

こんにちは

日本共産党杉並区議会議員

酒井まさえ



2021年4月1日 No.86 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com

区への申し入れ

コロナ対策、生理用品の無料提供など求める



↑申し入れをする党区議団 いちばん右が私

3月31日、日本共産党杉並区議団は杉並区に「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ（第7次）」を提出しました。党区議団が新型コロナ対策を求める緊急要望は、今回で7回目となります。

申し入れの内容は、

- 1、感染症対策の抜本的拡充
- 2、生活、営業への支援

の2項目で、PCR検査（社会的検査）の拡充や保健所体制の強化、変異株のスクリーニング検査結果

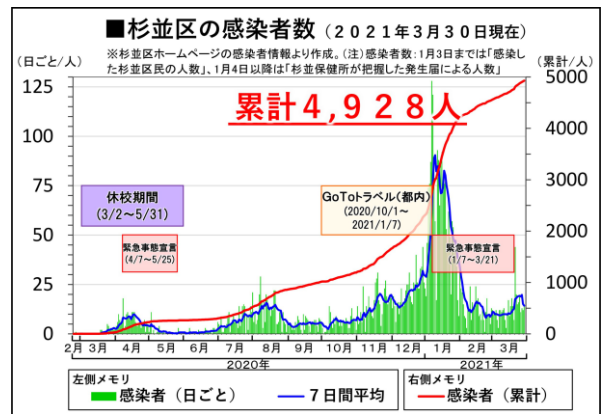
の公表、支援策の拡充と周知などを求めました。

副区長が申し入れ書を受け取り、変異株については区独自に結果を出すのが困難なこと、国民健康保険料の減免については引き続き実施できるよう検討していると答えました。

生理用品の無料提供を求める申し入れも

同時に、区と教育委員会に「生理用品の無料提供を求める申し入れ」を提出しました。

いま、世界各国で生理用品を買うことができない、使用できないなど「生理の貧困」が問題となっ



↑新規感染者は3月に入り増加傾向に

ています。この問題は日本も無関係ではなく、任意団体のアンケート調査では、5人に1人の若者が金銭的な理由で生理用品を買うのに苦労した、他の物で代用したとの結果が出ています。貧困で購入できないだけでなく、ネグレクトにより親等から生理用品を買ってもらえない子どももいるとの指摘もあります。

既に、都内のいくつかの自治体では、災害備蓄用の生理用品を活用し、必要な方への配布が始まっています。

杉並区においても、生活相談の中で、希望する人に災害備蓄用の生理用品の提供を始めたとのことですが、対象も規模も極めて限定的です。必要とする方が確実に受け取れるよう、また、左のようなカードを使って口に出さなくても受け取ることができるよう要望しました。



中野区で使っているカード

酒井地域 政治をかたるつどいひろく



↑ 3月27日永福、和泉、下高井戸地域



↑ 3月28日梅里、松ノ木、成田地域

3月27日と28日、「政治をかたるつどい」を行いました。
 コロナ禍で、人数を制限したつどいとなりましたが、大勢の方が参加しました。
 私からは、区のコロナ対策、ワクチン接種のこと、来年度の国保料、施設再編整備計画などについて報告しました。

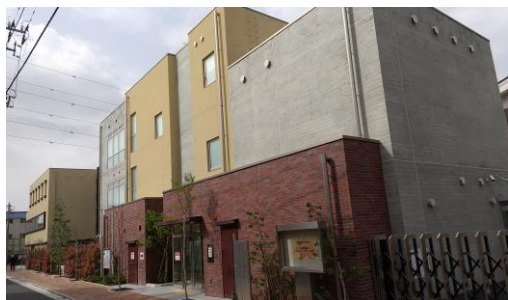
原田都議からは、都にPCR検査、変異ウイルスの検査を大規模に実施すること、医療機関への支援、保健所の強化を求めたこと。東京都の大型開発計画についても報告がありました。

参加者からは、「都政、区政が詳しく分かった」「ワクチンが心配」「開発は問題、暮らしにまわせ」「報告会を時々やってほしい」などの感想が出されました。

これからも、定期的に報告会を開き、みなさんの声を区政に届けて行きたいと思えます。



↑スペースが広く図書はそのまま移動



↑永福 3-51-17 前永福体育館跡地に

永福図書館
 複合施設「コミュニティふらっと
 永福」に移転
 4月2日にオープン

健康の話 ロコモについて

最近、「ロコモ」という言葉をよく聞くのではないかと思います。どういふことかみなさんはご存じでしょうか。

ロコモとは「ロコモティブシンドローム」の略称です。運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態です。

運動器は骨・関節・筋肉・神経などで成り立っていますが、これらの障害によって立ったり歩いたりするための身体能力が低下した状態がロコモです。

ロコモの原因は、転倒、骨折、関節の病気などがあります。

また、高血圧など生活習慣病のある人は比較的若いころからロコモの原因となる病気にかかりやすくなります。

ロコモが進行すると、介護が必要にもなってきます。

ロコモにならないようにするには、生活習慣病の予防、治療をする。運動器の衰えに対して、筋力やバランス力の体操をする。関節、骨の病気がなったら治療やリハビリを行うなどが上げられます。

ロコモは適切に対処すれば、回復が可能です。

お困りのことがありましたら酒井にご相談ください。